

平成 30 年度（29 年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	その他
	事務事業	市民スポーツ活動推進事業		事業期間	平成 28 年度～平成 35 年度

【事業全体概要】

事業の概要	生涯スポーツの振興を図るため、地区体育協会や高松市体力づくり市民会議等と連携、支援する中で、各種事業を展開するとともに、高松市体育協会等への支援を通じて、競技力の向上に取り組んでいる。また、青少年のスポーツ振興を図るため、スポーツ少年団の認定員養成講習会などの事業への支援を行っている。また、本市が委嘱しているスポーツ推進委員は、スポーツに関する指導・助言やスポーツの行事の企画運営、行政との連絡調整などの活動を行っている。				
30 年度概要	スポーツ推進審議会委員の報酬（11 人×1 回） スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等（102 人×26 回） 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民に対しては、各小学校区に男女 1 人ずついるスポーツ推進委員を中心として、スポーツの振興を図る。主催 6 大会の参加チーム数を増やす。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
主催 6 大会の大会開催日数	日		6	6	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
主催 6 大会参加者チーム数	チーム	目標値		120	120	120	120
		実績値		110	94		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 高松市スポーツ推進委員を通じて、各地区住民への参加を促すもの、各地区行事等と重複したことなどから、目標値に対し、78.3%に留まった。	(目標達成度)						(達成度) 78.3% 27点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27 年度（決算）	平成 28 年度（決算）	平成 29 年度（決算）	平成 30 年度（予算）
トータルコスト	[円]	66,547	68,065	58,650	54,956
（事業費）	[円]	47,354	47,652	38,924	35,230
（職員人件費）	[円]	19,193	20,413	19,726	19,726

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 市民スポーツの推進の中核を担っていることから、効率的な運営を図りながら、事業を継続することが適当である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 市民スポーツの推進の中核を担っていることから、効率的な運営を図りながら、事業を継続することが適当である。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	その他
	事務事業	市民スポーツフェスティバル開催事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の中核的スポーツ団体で構成する実行委員会を設置し、小学校区対抗競技13種目、市内6ブロック対抗の水泳競技大会、トリムの祭典を実施し、市として負担金7,500千円支出し、事務局の事務を担当している。なお、小学校区対抗競技大会及び水泳競技大会については、29年度末をもって廃止とし、平成30年度において健康体力づくりを主眼とした新たな事業を構築・展開していく。		
30年度概要	トリムの祭典		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


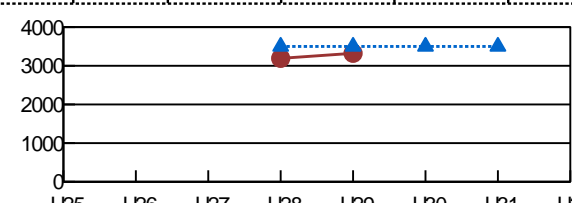
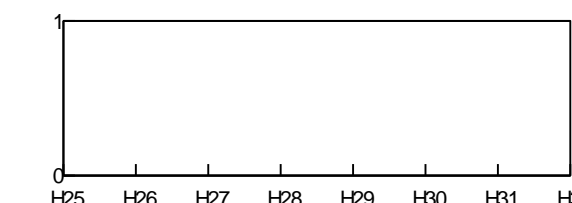
【事業の目的】

対象(何を)	全市民
意図(どのような状態にしたいか)	参加人数を増やし、スポーツや体を動かす機会とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
小学校区対抗競技延べ種目別開催日数	日		14	14	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	小学校区対抗競技参加者数	人	目標値		3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値		3,192	3,323		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 参加資格要件を緩和するなどの見直しを行い、参加者の増加を図ったが、台風に伴う一部競技の中止もあったことから、目標値に対し、94.9%の結果となった。 	(目標達成度)					(達成度) 94.9%	
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)					(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	25,435	20,062	19,039	14,139
(事業費)	[千円]	12,000	7,500	6,900	2,000
(職員人件費)	[千円]	13,435	12,562	12,139	12,139

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	廃止
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

小学校区対抗競技大会における参加資格要件を緩和するなどにより、参加者の増加を図ったものの、結果に繋がらず、また、予算確保も困難であったため、30年度は事業を廃止し、競技スポーツ以外の新たな事業を見直し検討委員会の中で、構築していくこととなる。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

一人でも多くの校区(地区)住民にスポーツ・レクリエーションに触れる機会を提供し、健康増進や地域の連帯感の醸成等を図るため、健康・体力づくりを主眼とした事業を構築・展開することが適当である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校体育施設開放事業		事業期間	平成20年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本事業は、昭和40年に子ども達に安全な遊び場を提供しようとの配慮から、休業中の校庭開放事業として始まり、昭和47年から一般市民を対象とするスポーツ・レクリエーションの振興を狙いとする学校開放事業として開始し、昭和50年には「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で無料開放している。一方、中学校については、昭和48年から夜間開放事業を開始し、地域性施設面積を動員して、現在、体育館10校、運動場5校の指定校方式で開放を行っている。平成14年度からは、受益者負担の原則に基づき、電気料の実費相当分を使用料として徴収している。
-------	---

30年度概要	地域、職場等のコミュニティ・スポーツの場として、小学校体育施設について全校区、中学校体育施設については15校の学校体育施設開放事業を促進し、スポーツ活動の振興に取り組む。また、中学校体育施設の開放校を拡充するための検討・協議を継続する。
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	小学校体育施設開放の利用者...校区内住民で構成される10名以上の団体 中学校体育施設開放の利用者...市内に在住または勤務する18歳以上(高校生以下は除く)の10名以上で構成される団体
意図(どのような状態にしたいか)	中学校体育館等の拡充を図ることで、中学校体育施設開放の利用者数増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
中学校体育館等の開放校数	校		15	15	15	15

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
中学校体育施設開放利用者数	延人数	目標値		45,000	45,000	48,000	60,000
		実績値		43,753	47,046		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値については達成することができた。継続して利用者数の拡大を目指す。	(目標達成度)						(達成度) 104.5%
							35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	27,785	29,116	35,338	28,247
(事業費)	[円]	19,340	18,910	25,475	18,384
(職員人件費)	[円]	8,445	10,206	9,863	9,863

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市民が気軽に利用できる体力づくりや生涯スポーツの場を提供し、市民スポーツの振興に寄与した。前年度と比較して、利用者数は増加しており、継続して利用者数の拡大を目指す。
--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

中学校体育館等の開放校数を拡充することで、施設利用者数の増加を図る。
------------------------------------

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者スポーツ推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者のスポーツ推進を図るため、本市スポーツ施設における環境整備や障がい者スポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者のスポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組みます。				
	30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者対応のスポーツ環境整備</li> <li>日本パラ陸上競技選手権大会誘致</li> <li>日本パラ陸上競技選手権大会の開催（補助、ネット配信、イベント）</li> </ul>			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型		

【事業の目的】

対象（何を）	市内の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者のスポーツ人口の増加及び競技力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
障がい者対応のスポーツ環境整備件数	件			2	5	5
種目別競技大会の開催件数	件		0	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		香川県障がい者スポーツ大会への参加人数	人	目標値	236	247	259	271
			実績値	236	251	189		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を下回った達成度となった。						(達成度) 73.0%	
								25点
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,381	10,221	15,644	25,786
（事業費）	[千円]	0	800	6,540	16,682
（職員人件費）	[千円]	7,381	9,421	9,104	9,104

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>B</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

中国・四国パラ陸上競技大会の高松開催を実現し、障がい者スポーツの振興とスポーツ人口の増大に大いに寄与した。30年度において開催される日本パラ陸上競技選手権大会においては、さらに規模の増大が予測されるため、開催経験を生かした効率的な実施をしていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

関係団体等との役割分担を明確にし、連携を図る中で、事業を効果的に進める。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	その他
	事務事業	サンポート高松トライアスロン大会開催事業		事業期間	平成29年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	サンポート高松トライアスロンは、2010年（平成22年）に第1回目の大会を開催し、本年で第8回を数える。当初スプリントトライアスロン（25.75km）として実施された大会も、2013年大会からオリンピックディスタンス（51.5km）にコースをステップアップし、市内中心部を周回で駆け抜ける国内有数の『まちなかトライアスロン』として認知されるに至る。		
30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般参加の開催</li> <li>アジアカップ大会の開催</li> </ul>		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内外のトライアスロン愛好者、及び世界トップエリート選手
意図（どのような状態にしたいか）	香川・高松の魅力を発信するとともに、市民のスポーツに対する関心や興味を高め、スポーツに参加する動機付けにつなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
参加申込選手数	人			626	750	800

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
観客動員数	人	目標値			39,000	39,000	40,000
		実績値			38,500		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 概ね達成できているが、中央通りの観客を増やす必要がある。 (目標達成度)						(達成度) 98.7% 34点	
ボランティア参加者数	人	目標値			1,200	1,200	1,500
		実績値			1,016		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成28年の640人と比較すると2倍近くになっているが、エリート部門のコース設営もボランティアで運営できればコスト削減につながるため、さらに200人以上増やす必要がある。 (目標達成度)						(達成度) 84.7% 29点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]			37,587	37,587
（事業費）	[円]			30,000	30,000
（職員人件費）	[円]			7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

29年度より2日間開催となり、ボランティアスタッフの増加や、交通規制の時間帯が変わったことにより、市民の理解に加え、香川県警をはじめとする香川県の協力を得ながら無事開催できた。今後は、市、実行委員会、ボランティアのそれぞれの役割をより明確にし実施していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

2日間開催に移行したことにより、かかる経費、人的負担、市民への影響を考慮しながら、効率的・効果的に事業を進めていく。